

「新修神戸市史」 正誤表・補足（既刊分）

行政編Ⅰ 「市政のしくみ」

頁	誤	正
10頁 3行目	二年後	十四年
19頁 12行目	二十三日	二十五日
48頁 3行目	答えた	こたえた
223頁 7行目	一一二	一一四
301頁 1行目	昭和三十五年	昭和三十六年
423頁 1行目	大正四年二月	大正三年三月
423頁 3行目	調査委員	調査委員会
423頁 4行目	・・たが、可決されなかった。	・、大正三年七月二十八日可決された。
584頁 9行目	劇甚	激甚
592頁 1行目	市政	神戸市
634頁 1行目	九月	十一月
635頁 4行目	同年十二月	十二年一月
635頁 9行目	区内に居住するか、あるいは	区内に本籍住居を定め、
640頁 表127 大正8年有権者数	18,946	13,946
642頁 14行目	五万人	五千人
655頁 3行目	一五年	二十年
671頁 4行目	とび混んだ	とびこんだ

補 足

頁	下線は一部補足
635頁 10行目	・・者のほか、区内に不動産を有し、三年以上・・
647頁 表131欄外	大正14年の選挙から多額納税者上位15人は、上位200人となった。
488頁 表73欄外	(単位：千円)

歴史編Ⅰ 「自然・考古」

頁	誤	正
口絵写真15	4. セキモリガイ	4. ハリマセキモリガイ
口絵写真16	6. カモノアシガキ	6. ネコノアシガキ
234頁 表31	温暖	温暖
237頁 写真56		〔追加〕 1. オキシジミの1種 2. エガイの1種 3. シオガマガイの1種 約3倍大
392頁 11行目	西南	西北
399頁 3行目	汀綿	汀線
485頁 10行目	二万五〇〇〇分の一	二万分の一
525頁 7行目	兵庫県立博物館	兵庫県立歴史博物館
553頁 3行目	標高八メートル	標高四メートル
566頁 6行目	一二棟	一〇棟
586頁 14行目	ている柵の	ている。柵の
589頁 2行目	(植物の硝子質細胞)	(機動細胞硅酸体)
611頁 10行目	帆立貝式古墳	前方後円墳
611頁 13行目	帆立貝式古墳	帆立貝形前方後円墳
629頁 3行目	これ以外に	〔削除〕
634頁 4行目	丘	丘
634頁 図179	青谷遺跡	金棒池〔657頁に移す〕
650頁 12行目	鈍	鈍
655頁 図184(スケール)	30cm	10cm
673頁 7行目	削刻	削平
写真・図・表一覧 11頁	図18海の生物模式図	図18 海の生物模式図

(米谷佳晃)

お願い：他の巻と表裏でご利用のときは複写してください

歴史編Ⅲ 「近世」

頁	誤	正
211頁 16行目	具原益軒	貝原益軒
214頁 5行目	落葉山自庵	落葉山水月庵
433頁 14行目	宝暦八年	宝暦七年
612頁 11行目	飲焚	飯焚
721頁 12行目	安政四年五月二十六日	安政五年六月十九日
756頁 12行目	図51B 1	図51B
756頁 15行目	図51B 2	図51C
756頁 16行目	図51C	図51D
巻末7頁 写真113	〈神戸市立博物館蔵〉	〈粟崎八幡神社蔵〉
巻末30頁 左端	明石郡は次ページ参照。	(削除する)
巻末36頁 左端		
巻末35頁 右端	八部郡は前ページ参照。	(削除する)
巻末41頁 右端		
巻末42頁 質量	貫	貫
巻末42頁 貨幣	分4朱	分=4朱

産業経済編Ⅰ 「第一次産業」

頁	誤	正
目次10頁 10行目	戦時恐慌下	戦後恐慌下
48頁 2行目	田中俊児	田中俊児
63頁 八部郡表最下欄	法庭	法廷
114頁 7行目	産類	生産額
123頁 表47	舟坂村	船坂村
147頁 写真30	(豪商名所獨案内の魁)	(『豪商名所獨案内の魁』)
238頁 写真48	神戸市農会誌	神戸市農会報
306頁 3行目	慣行四三	慣行四二
312頁 1行目	組長	組合長
457頁 11行目	人会権者	入会権者
466頁 9行目	大生	大正
473頁 12行目	納入金	納入金
476頁 9行目	食料危機	食糧危機
529頁 16行目	横班プリマスロック	横班プリマスロック
597頁 3行目	三月十五日	三月二十日
629頁 表208	果樹柵	果樹棚
630頁 表209	ぶどう柵	ぶどう棚
632頁 1行目	作離料	離作料
648頁 11行目	未墾地	未墾地
687頁 1行目	すぎかかった	すぎなかった
巻末4頁 写真29	高取付近炭坑位置図	高取山付近炭坑位置図
巻末5頁 写真48	神戸市農会誌	神戸市農会報
巻末5頁 写真56	明石掘割土地改良区蔵	明石堀割土地改良区蔵
巻末30頁 付表Ⅱ	『1989年版日本国勢図絵』	『1989年版日本国勢図会』

歴史編Ⅳ 「近代・現代」

頁	誤	正
10頁 12行目	柳原廓	福原廓
36頁 11行目	commissoners	commissioners
38頁 7行目	ご如く	如く
38頁 11行目	大に東洋諸国	大に我東洋諸国
54頁 8行目	共立者	共立社
111頁 17行目	基礎	基礎
219頁 17行目	五名から一〇人の	五人から一〇人の
225頁 1行目	改新党系中心とした	改新党系を中心とした
395頁 8行目	帰京	帰県
413頁 表111	神埼郡	神埼郡
466頁 13行目	四人なしの六人	四人なしの六人
481頁 図22	菅原通	菅原通
492頁 13、14行目	供水	給水
514頁 表133	A/Cは一学級当たりの教員数	A/Cは一学級当たりの児童数
656頁 12行目	共通日標	共通目標
866頁 13行目	禁輸	禁輸
876頁 3、8行目	十九年	二十年
886頁 2行目	80機による東京、名古屋、大阪	85機による東京
890頁 12行目	防空で	防空デ
909頁 15行目	召集	召集
915頁 2行目		
917頁 1行目	日本社会党九人	日本社会党一〇人
917頁 2行目	その他諸派・無所属も多く五六人	その他諸派・無所属も多く三九人
920頁 3行目	貯蓄増産	貯蓄増強
970頁 表205	派党	党派
971頁 17行目	配布税の減額	配付税の減額
1016頁 1行目	交通整備網	交通網整備
1042頁 2行目	神戸婦人団体協議会	神戸市婦人団体協議会
巻末21頁 第5章	“Monthry Military……”	“Monthly Military……”

補 足

頁	下線は一部補足、なお()内は米軍側資料による
886頁 1行目	B29一二九機(一一〇機)、主力の八五機(六九機)
887頁 2行目	二時間余り(一時間)、爆弾五〇個(破砕集束弾六八個) 焼夷弾三六九六個(結束焼夷弾九五五個)
888頁 13行目	B29六九機(三〇六機)
888頁 14行目	焼夷弾など三万三九五二個(結束焼夷弾八七三六個、焼夷弾一四九八個、 結束破砕弾ほか一一五個)
888頁 17行目	一トン爆弾(五〇〇ポンド汎用爆弾)
889頁 2行目	B29三五〇機(四七四機)

長 さ	
尺=10寸=30.303cm	
寸=10分=3.0303cm	
分=3.0303mm	
間=6尺=1.8182m	
町(丁)=60間=109.09m	
里=36町=3.9273km	
面 積	
歩=坪=1平方間=3.3058m ²	
畝=30歩=99.174m ²	
反(段)=10畝=300歩=991.74m ²	
町=10反=3000歩=9917.4m ²	
体 積	
石=10斗=180.39ℓ	
斗=10升=18.039ℓ	
升=10合=1.8039ℓ	
合=10勺=180.39cm ³	
石材 石=1尺×1尺×10尺=10才	
木材 石=1尺×1尺×10尺	
質 量	
貫=1000匁=3.75kg	
匁=10分=3.75g	
分=10厘=0.375g	
斤=160匁=600g	
貨 幣	
金貨(計数貨幣)	銀貨(秤量貨幣)
両=4分	貫=1000匁
分=4朱	匁=10分
銅貨 錢(計数貨幣)	分=10厘
貫=1000文	厘=10毛
文=錢1枚	

元 号	西歴年代
永 禄	えい ろ く 1558~70
元 龜	げん きう 1570~73
天 正	てん しょう 1573~92
文 禄	ぶん ろ く 1592~96
慶 長	けい ちやう 1596~15
元 和	げん な 1615~24
寛 永	かん えい 1624~44
正 保	しょう ほう 1644~48
慶 安	けい あん 1648~52
承 応	じやう おう 1652~55
明 暦	めい れ き 1655~58
万 治	まん じ 1658~61
寛 文	かん ぶん 1661~73
延 宝	えん ぼう 1673~81
天 和	てん な 1681~84
貞 享	じやう きやう 1684~88
元 禄	げん ろ く 1688~04
宝 永	ほう えい 1704~11
正 徳	しょう とく 1711~16
享 保	きやう ほう 1716~36
元 文	げん ぶん 1736~41
寛 保	かん ぼう 1741~44
延 享	えん きやう 1744~48
寛 延	かん えん 1748~51
宝 暦	ほう れ き 1751~64
明 和	めい わ 1764~72
安 永	あん えい 1772~81
天 明	てん めい 1781~89
寛 政	かん せい 1789~01
享 和	きやう わ 1801~04
文 化	ぶん か 1804~18
文 政	ぶん せい 1818~30
天 保	てん ぼう 1830~44
弘 化	こう か 1844~48
嘉 永	か えい 1848~54
安 政	あん せい 1854~60
万 延	まん えん 1860~61
文 久	ぶん きゅう 1861~64
元 治	げん じ 1864~65
慶 応	けい おう 1865~68
明 治	めい じ 1868~12
大 正	たい しょう 1912~26
昭 和	しょう わ 1926~89
平 成	へい せい 1989~

「新修神戸市史」 正誤表・補足（既刊分）②

歴史編Ⅱ 「古代・中世」

頁	誤	正
274頁 2行目	(田口成良)	(田内成良)
291頁 最終行	とともに、外孫	とともに、清盛の外孫
328頁 11行目	祈念穀奉幣	祈年穀奉幣
344頁 2行目	引に組み込み、鎮圧のための人	引に組み込み、人
373頁 15行目	田口氏	粟田氏
384頁 最終行	その就任	守護への就任
403頁 7行目	くぎょう 公暁	こうぎょう 公暁

歴史編Ⅲ 「近世」

頁	誤	正
巻末7頁 写真113	天保2年奉納兵庫津沖船絵馬〈神戸市立博物館蔵〉	天保2年奉納兵庫津沖船絵馬〈粟崎八幡神社蔵〉
巻末8頁 写真128	髪結（『日本名所風俗図会』）〈兵庫県立図書館蔵〉	髪結（『日本名所風俗図会』）
巻末10頁 写真181	舞子砲台〈大阪市立博物館蔵〉	「舞子砲台」〈『写真行脚集』第貳巻に収載 個人蔵〉

歴史編Ⅳ 「近代・現代」

頁	誤	正
276頁 写真21	日清戦争凱旋祝賀の門	「日清戦役神戸楠公前」
巻末4頁 写真21	日清戦争凱旋祝賀の門〈大阪市立博物館蔵〉	「日清戦役神戸楠公前」〈『写真行脚集』第貳巻に収載 個人蔵〉

「新修神戸市史」 正誤表・補足（既刊分）③

生活文化編

頁	誤	正																								
91頁 5行目 94頁 2行目 94頁 図1	ことなる 鷹取神戸工場	ことなる 鷹取工場・神戸工場 以下の通り差替え																								
		<table border="1"> <caption>明治44年 [明治44年] 合計 32,899人</caption> <thead> <tr> <th>工場</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川崎造船所</td> <td>5,616人</td> <td>(17%)</td> </tr> <tr> <td>鐘紡兵庫工場</td> <td>4,544人</td> <td>(14%)</td> </tr> <tr> <td>川崎造船所 兵庫分工場</td> <td>2,195人</td> <td>(7%)</td> </tr> <tr> <td>三菱神戸造船所</td> <td>2,081人</td> <td>(6%)</td> </tr> <tr> <td>神戸工場</td> <td>1,652人</td> <td>(5%)</td> </tr> <tr> <td>鷹取工場</td> <td>1,446人</td> <td>(4%)</td> </tr> <tr> <td>その他の工場※</td> <td>15,365人</td> <td>(47%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全て職工数500人以下の工場</p>	工場	人数	割合	川崎造船所	5,616人	(17%)	鐘紡兵庫工場	4,544人	(14%)	川崎造船所 兵庫分工場	2,195人	(7%)	三菱神戸造船所	2,081人	(6%)	神戸工場	1,652人	(5%)	鷹取工場	1,446人	(4%)	その他の工場※	15,365人	(47%)
工場	人数	割合																								
川崎造船所	5,616人	(17%)																								
鐘紡兵庫工場	4,544人	(14%)																								
川崎造船所 兵庫分工場	2,195人	(7%)																								
三菱神戸造船所	2,081人	(6%)																								
神戸工場	1,652人	(5%)																								
鷹取工場	1,446人	(4%)																								
その他の工場※	15,365人	(47%)																								
753頁 3行目	「七生報国」	「七生滅賊」																								
巻末 参考文献目録 18頁 26行目	『CEL(54)』大阪ガスエネルギー・文化研究所 2000年	(削除する)																								
18頁 27行目	『日本建築学会計画系論文集』日本建築学会 1995年	(削除する)																								

補足

頁	下線は一部補足
巻末 参考文献目録 17頁 22行目 17頁 25行目 36頁 13・14行目の間	<p>通して『日本建築学会計画系論文集』日本建築学会 1995年</p> <p>森口留吉『CEL(54)』大阪ガスエネルギー・文化研究所 2000年</p> <p>田中正文「御幸通六丁目の『光徳寺』について-戦前神戸にあったもう一つのモダン寺-」『神戸史談』306号神戸史談会 2010年</p>